

相模

S A G A M I

第 542 号

www.samukawajinja.jp

令和7年10月1日





相模國 一之宮 寒川神社

一、御祭神

寒川比古命（さむかわひこのみこと）
寒川比女命（さむかわひめのみこと）

寒川神社は、寒川比古命・寒川比女命を奉祀申し上げ、二柱の御祭神を寒川大明神と奉称しています。

寒川大明神は、相模國を中心に広く関東地方を御開拓になられ、衣食住など人間生活の根源を開発・指導されました関東地方の親神様です。

一、御由緒

当神社の創建は古く、『惣国風土記』には雄略天皇（457～479年）の御代に奉幣があったと記されています。また、『寒川文書』には神龜4年（727年）社殿建立と伝えられ、『続日本後紀』には承和13年（846年）に神階從五位下を授けられたと記載されています。さらには醍醐天皇の御代に制定された延喜式においては、相模國唯一の名神大社と定められ、当神社は少なくとも約1600年の歴史を有する古社といえます。

特に古くから唯一の八方除の守護神として、地相・家相・方位・日柄・厄年などに由来する災難をとり除き、福德開運をもたらし、日々の暮らしに限りない恩恵を与えて下さる御神徳は、廣大無辺です。

この八方除の御神徳は、全国各地より敬仰され寒川大明神を奉戴する崇敬者は年々増加し、篤い信仰を集めています。

一、御神域

神聖なる神嶽山（かみねやま）を背に境内は約1万5000坪となっており、緑豊かな樹木に囲まれています。神門、手水舎に続いて、平成9年10月に厳肅の中にも絢爛に輝く銅板葺、総木曾檜造りの御本殿のほか、幣殿、拝殿、翼殿、廻廊などが完成致しました。

また御本殿の奥庭「神嶽山神苑」は、御社殿御造営10年を記念致しまして、大規模に整備を行い、平成21年に開苑致しました。



ご登録お待ちしております



社報『相模』メールマガジン

祭典・行事のご案内を社報「相模」メールマガジンとしてお届けします。是非、ご登録ください。



❖メールは毎月1日に配信致します。
❖ホームページよりご登録ができます。
<https://samukawajinja.jp/mailmagazine/>



Instagram 公式Instagram
samukawa_jinja_official



神社の四季折々の様子などを発信しています。皆様のフォローをお願いします。また、個人で神社の写真をアップされる際は「#寒川神社」をつけてください。

※御本殿内・授与所の撮影はご遠慮ください



YouTube 公式チャンネル



祭事のほか、貴重な資料などを定期的に更新しています。今後も様々な行事の様子を発信していきますので、皆様のチャンネル登録をお願いします。



公式ラインアカウント



祭事、行事の最新情報を発信しています。Instagram以外の情報もお送りしていきますので「友だち」登録をお願いします。



公式フェイスブック



祭事、行事の最新情報を発信しています。公式Instagramとリンクしています。一緒にご登録をお願いします。

- 2 社務報告
- 4 浜降祭のご報告
- 5 相模薪能のご報告
- 6 大東亜戦争終戦80年記念事業のご報告
- 8 例祭斎行
- 9 例祭神徳奉賛金奉賛者芳名
- 10 例祭献灯者芳名
- 11 企画展「昭和100年史」
- 12 第58回菊花写真展開催のご案内
- 13 七五三詣のご案内・病院だより
- 14 青少年だより
- 15 相模の歌・人事
- 16 10月～12月 祭典のご案内



浜降祭 送り火

【表紙】
写真展審査長
丹治俊雄
「流鏑馬神事」

【題字】
神社本庁 総長
田中恆清



《方徳資料館》

【開苑期間】 3月上旬～12月13日まで
※毎週月曜日は休苑（祝祭日は開苑）
【開苑時間】 午前9時から午後4時まで
※午後3時30分 入苑受付終了
【施設】
・茶屋「和楽亭」
午前9時30分から午後3時30分まで
（午後3時 受付終了）
お抹茶とお菓子
（拝服料500円より思召し）
・方徳資料館



《八氣の泉》

かん たけ やま しん えん
神嶽山神苑
寒川大明神との御神縁をお深めください
※入苑は御祈禱を受けた方に限ります。



平和祈願祭



浜降祭パネル展

報告

◆浜降祭パネル展◆

6月30日より7月26日まで「浜降祭パネル展」が開催されました。本企画はコロナ禍において浜降祭が斎行できず、各種祭典や神輿渡御・地域氏子への神事継承を目的として、令和3年より開催し、本年度5回目となります。多くの参拝者に浜降祭の祭事の意義や、神社の神輿が祭場の南湖の浜まで行く順路などを写真や掲示物を用いて展示しました。

◆指定神社実習◆

8月12日から18日までの間、神職を目指して日々勉強に励む國學院大學（東京都）と皇學館大学（三重県）の学生の神社実習を受け入れました。神職になるためには、様々な実習を受ける必要があります。座学では得られない現場の空気を肌で感じ、経験を積むことを目的とされています。学生たちは期間中に社頭奉仕・祭典への参列・青少年育成活動



指定神社実習



指定神社実習

◆平和祈願祭◆

などの実習を通じて、神明奉仕の糧となる貴重な時間を得ることができました。

終戦記念日である8月15日正午より、末社宮山神社境内にあります平和塔「和光」の前にて平和祈願祭が斎行されました。

「和光」は戦後20年の節目であった昭和40年に住民の総意により建立され、八角形の支柱は3本あり、戦没者・遺族・国民を象徴し、上の玉は平和を表しています。当日は猛暑の中、責任役員・総代長・宮山自治会役員にご参列いただき、戦没者に慰霊の黙祷を捧げ、世界の恒久平和が祈念されました。

◆華道夏期研修会◆

8月25日・26日の2日間に亘り、華道夏期研修会が巫女を対象に開催され、参加者は講師先生方のご



華道夏期研修会

祭典・行事のご報告

7月

6日 天皇皇后両陛下

蒙古国御渡航行幸啓安泰祈願祭

15日 天皇皇后両陛下

蒙古国御渡航還幸啓奉告祭

併せて浜降古式祭

20日 浜降祭宵宮祭並遷霊祭

21日 浜降祭

22日 虫送り祭

30日 浜降祭パネル展（6月30日～7月26日）

8月

5日 終戦八十年企画展示（～17日）

10日 大東亜戦争終戦八十年記念事業

平和祈願祭

平和祈念式典

平和祈念公演

12～18日 國學院大學・皇學館大学

指定神社実習受入れ

15日 平和祈願祭

第56回相模薪能

19日 神社庁相模湘南支部総会

24日 第3期相模塾第8回講座

25～26日 華道夏期研修会

9月

1日 寒川神社全総代会

3～9日 神社庁相模湘南支部祭式研修会

19日 企画展「昭和100年史」（～11月9日）

商工祈願祭並献灯奉告祭

例祭宵宮祭

流鏑馬神事

20日 例祭

23日 安藤由勝大人命

伊集院直彦大人命

他命等の慰霊祭

末杜御祖神社

秋季霊祭並合祀祭

29日 末杜宮山神社例祭

30日 高座氏子総代会総会

毎月1日・20日 月次祭（9月20日は除く）

社務

指導を仰ぎ、四季折々の草花を花器に彩り、花々の美しさを見出すことで、各々技術を研鑽致しました。年に1回の開催であり、巫女一同新鮮な気持ちを持って受講し、生け花の技術の向上を図るとともに、礼儀作法を学び感性を磨いて心身ともに成長することができました。

◆相模湘南支部祭式研修会◆

9月3日・9日の2日間に亘り、神社庁相模湘南支部主催による祭式研修会が当神社参集殿にて開催されました。本研修会においては祭式講師である小野和伸先生をお招きし、午前中は基本動作の確認と講義、午後からは韓国の「釈奠大祭」の視察における報告と儀式内における神社祭式との共通点や東アジアにおける近隣国の祭事としてのご考察をご教授いただき、その後衣紋（装束）の著装方法や作法をご指導いただきました。

衣紋を着るといのは、祭典や御祈禱時など御神前にて奉仕を行う特別な時です。真心もって祭祀



相模湘南支部祭式研修会



小野先生によるご講義

に勤しむ大切さを再認識し、神職としての基本を今一度省みる機会となりました。小野先生の懇切丁寧なご講義において祭祀の厳修を理解し、日々の神明奉仕に活かすべく有意義な研修となりました。

◆秋分の日◆

秋分の日（9月23日）は、戦前「秋季皇霊祭」と呼ばれ、歴代天皇並び皇族の御霊をお祀りする祭日でありましたが、昭和23年に「秋分の日」と名称が変わり、先祖を敬い故人を慈しむ日として、今では国民の生活に深く根付く祝日となっています。

当神社では、安藤由勝大人命伊集院直彦大人命他命等の慰霊祭と末杜御祖神社秋季霊祭並合祀祭が執り行われ、肅々と先祖・先人たちに感謝の意を捧げました。

また日の出・日の入りの位置を結んだ直線上に富士山・寒川神社・出雲大社などが並ぶ御来光道の日として、当神社では『御来光守』を頒布しました。



御祖神社秋季霊祭並合祀祭



【7月21日 午前2時頃】

寒川神社に倉見神社・菅谷神社・八幡大神の各神輿が参集しました。



【7月21日 午前2時30分】

寒川神社の神輿が神社を出発前に発輿祭^{はつよさい}を行い総代、輿丁らが参列しました。



【7月21日 午前6時頃】

寒川神社の神輿が茅ヶ崎南湖の浜に到着しました。



【御旅所神主 鈴木孫七氏 玉串拝礼】

浜降祭 暁の祭典

7月21日(海の日)に茅ヶ崎の南湖の浜にて浜降祭が斎行されました。当祭典は梅雨明けと斎行日が重なることから夏の到来を告げる神事と言われ、湘南地域を代表する祭典です。当日は寒川神社をはじめとして寒川町と茅ヶ崎市に鎮座する34の神社と約40基の神輿が一堂に参集し、午前3時頃から神輿の浜への入場を見ようと多くの方が来場しました。※来場者数は約9万人(主催者発表)

当祭典の斎主は当神社の利根宮司が司り、その他参加神社の神職約20名によって奉仕されます。当日の午前7時、未明より集結した神輿の前にて南湖の浜を背に浜降祭が厳粛に斎行されました。利根宮司による各神社名、五穀豊穡と地域の産業発展を祈る祝詞が奏上され、引き続き御旅所神主の鈴木孫七氏を筆頭に多くの関係者によって玉串拝礼が行われました。御神威を新たにした各神輿がそれぞれの神社に向けて発輿し、当神社は午後1時頃に無事に還幸されました。

※浜降祭は昭和53年「神奈川県無形民俗文化財」に指定され、「かながわのまつり50選」に選定されています



【宮司 祝詞奏上】



【狂言：和泉流 宗八】

相模薪能

第五十六回

たきぎの



【能：観世流 井筒】



【能：観世流 融】



【特設能舞台】



【四海波】



【僉議】

相模薪能は、昭和45年より始まり先の大戦において尊い命を捧げられた護国の英霊と戦争犠牲者の御霊をお慰め申し上げ、世界の恒久平和を祈念する神事能です。

8月15日、終戦記念日に因んで第56回相模薪能が開催され、朝方より40度に迫る酷暑日でしたが、夕刻からは暑さも落ち着き、来場者（約1000名）は能の醸し出す幽玄な世界を堪能されました。本年は大東亜戦争の終戦から80年の節目として、「追善」を伴う演目が組まれました。

午後5時30分より相模薪能奉告祭を斎行し、舞台清祓が行われ、中森健之介氏により^{しかいなみ}四海波が御本殿にて奉納、奉行として佐藤光氏（茅ヶ崎市長）、副奉行として金子一茂氏（寒川町商工会会長）、亀井信幸氏（茅ヶ崎商工会議所会頭）が奉仕されました。祭典後、^{せんぎ}僉議（薪能の開始の宣言）が行われ、開演しました。

本年は、在原業平を弔う演目として半能「^{いつつ}井筒」（中森貫太他）、狂言「^{そうはち}宗八」（野村萬斎他）、源融を弔う演目「^{とおる}融」（観世喜正他）の計3本が御本殿前の特設能舞台にて奉納されました。

8月10日、当神社と寒川町仏教会との合同で「平和祈願祭」を執り行い、関係者など約130名が参列しました。令和7年は大東亜戦争の終戦より80年という節目の年となり、10年前の平成27年8月にも同企画を実施し、本年におきましても今ある平和への感謝と共に日本の在り方を考える機会とするため、各祭事と行事を実施しました。

平和祈願祭

本祭典は、大東亜戦争の終戦80年にあたり、地域一体となつて心を一つに平和を祈願するために当神社の呼びかけに仏教会様が応じられ、神職と同会の僧侶それぞれ12名が奉仕し、神仏合同の祭事が執り行われました。

祭典は午前10時から御本殿で斎行され、まず神式による修祓を行い、雅楽の伴奏にて国歌を斉唱、斎主の利根宮司と導師代表として小林善信 仏教会会長（靈信山西善院住職）が一拝した後、利根宮司による祝詞奏上、全員で大祓詞を奉唱しました。次に仏式による、三礼・洒水・振鈴、祈願讃奉唱、表白文奉読、回向讃奉唱が行われ、観音経偈読経・回向の際には来賓の星野剛士衆議院議員、阿部知子衆議院議員、山本哲郎衆議院議員をはじめ、参列者が献花を行いました。この後、巫女による平和を祈る「浦安の舞」が奉奏され、参列者による玉串拝礼にて祭典は終了しました。

天地の 神にぞ祈る 朝なぎの

海のごとくに 波たたぬ世を

浦安の舞は昭和15年（皇紀2600年）に国家奉祝の意味を込めて、昭和天皇御製に作曲作舞されたものです。国の安泰と平和への祈りが込められた神楽舞として、祭典・結婚式等で奉奏されています。

記念事業のご報告



【大祓詞奏上】



【宮司祝詞奏上】



【参列者による献花】



【仏式による奉仕】

平和祈念式典

祭典終了後、寒川神社参集殿に会場を移し、平和祈念式典が挙行されました。黙祷、開式の辞に続いて、利根宮司と小林会長、星野議員が挨拶をされました。利根宮司においては終戦の玉音放送の内容を改めて振り返り、昭和天皇をはじめ、当時を生きた人々がどのような未来を目指していたのかがひしひしと伝わり、その中に日本再興への手がかりがあるのではないかと回想しました。

直会では、戦中・戦後の厳しい食糧事情を踏まえ、当時の献立を推測して作られた料理が提供されました。



【宮司挨拶】



【直会】



【式典会場】

大東亜戦争終戦80年

平和祈念公演

午後5時40分からは神社近郊の寒川町民センターにおいて、平和祈念公演が開催され、約600名が来場しました。第1部は女流太鼓チーム「焔太鼓（ほのお）」（一般財団法人浅野太鼓文化研究所所属）の勇壮なる演奏が行われ、引き続き第2部では、テレビドラマ「3年B組金八先生」で知られた南中ソーラン「TAKiOのソーラン節」の生みの親で民謡歌手である伊藤多喜雄氏とTAKiOバンドにてボリュームのある名曲が演奏され、会場は盛況のうちに終演となりました。

※企画展 「昭和100年史」 が先行開催（8月5日～17日）

関東大震災からの復興、昭和史と戦争の記憶を継承すると共に経済成長期を経て、平成に至るまでの変革をテーマとした展示会が参集殿において本行事に併せ、先行展示致しました。

※詳細は11ページに記載しております



【伊藤多喜雄氏とTAKiOバンド】



【焔太鼓】

令和7年 寒川神社 例祭 齋行



祭典



修祓

【ご報告】

9月19日、20日の2日間に亘り、寒川大明神の御加護に感謝を申し上げ、御皇室の御安泰と氏子崇敬者の隆昌を祈念する例祭が厳粛に斎行されました。

19日の午後1時から例祭宵宮祭、引き続き午後2時から（公社）大日本弓馬会による流鏑馬神事が境内馬場にて奉納され、当神社の神職も射手として奉仕し、天下泰平と五穀豊穡が祈念されました。20日の午前10時から例祭が斎行され、約220名のご参列の下、神社本庁より本庁幣が供進されました。本年の献幣使は神奈川県神社庁長（師岡熊野神社宮司）石川正人氏が参向し、祝詞奏上の後、浦安の舞が厳かに奉奏されました。

また神賑行事として両日、献茶・献花・献句・少年館作品などの展示が開催されました。20日には午後より剣道大会や空手道演武の奉納があり、夕刻からは立正佼成会湘南教会の万灯パレードが華やかに奉納され、引き続き宮山神輿愛好会の担ぎ手が参集し、盛大に神輿が境内を巡行し、各種団体が大明神への感謝を込めて肅々と執り行われました。

【例祭】

神社において年に1度、御祭神や神社に由緒がある日や神社創建日などに行われる祭典です。当神社の例祭日の由緒には諸説ありますが、元慶8年（884年）9月に朝廷より神階（日本において神道の神に授けられた位階）正四位上を賜り、昇階への祝祭と記載があり、由緒の1つとして考えられています。

【本庁幣】

神社本庁より全国神社の総意に基づき、神社の御神徳の発揚と興隆、また奉賛の誠を捧げるため、例祭においてお供えされる幣帛（へいはく）です。



献花



万灯パレード



流鏑馬神事（天長地久の式）



空手道演武



神輿巡行



流鏑馬神事

令和7年 例祭神徳奉賛金 奉賛者芳名

雷	辻田 憲之 殿外 26名 二八、〇〇〇円
下	金子 一也 殿外 63名 六四、〇〇〇円
馬場	原 康人 殿外 28名 二九、〇〇〇円
根岸(上)	森井 尚志 殿外 23名 二七、〇〇〇円
根岸(中)	永田 清次 殿外 6名 九、〇〇〇円
根岸(下)	高橋 洋子 殿外 22名 二五、〇〇〇円
オリブの丘	坂口 紗織 殿外 3名 一一、〇〇〇円
旭(東)	滝沢 博 殿外 23名 二四、〇〇〇円
旭(西)	高橋 健司 殿外 6名 九、〇〇〇円
上合	金子 能久 殿外 12名 一三、〇〇〇円
中里(上)	村崎 修 殿外 29名 五〇、〇〇〇円
中里(下)	皆川 芳正 殿外 20名 五二、〇〇〇円
中里(河原)	古河 宗彦 殿外 14名 一九、〇〇〇円
中里(サザン)	中村 享司 殿外 5名 六、〇〇〇円
宮山南	佐原 数彦 殿外 10名 四二、〇〇〇円
森下	佐々木 淳 殿外 7名 一四、〇〇〇円
火の見下	大木 睦美 殿 一、〇〇〇円
北台畑	松野 茂雄 殿外 2名 五、〇〇〇円
南台畑稲荷前	中島 正壽 殿 五、〇〇〇円
西町西1	入澤 清子 殿外 12名 一三、〇〇〇円
西町西2B	谷島 俊郎 殿 三、〇〇〇円
宿2	内田 武秀 殿外 5名 六、〇〇〇円
東1	若林 航 殿外 3名 八、〇〇〇円
東2	竹内 幸子 殿外 4名 一一、〇〇〇円
東3・5A	二戸 勇一 殿外 8名 一一、〇〇〇円
東3・5B	前田 順子 殿外 18名 一九、〇〇〇円
東6	内田 一城 殿外 5名 八、〇〇〇円
東8	大和田悦子 殿 一、〇〇〇円
仲町2	鈴木 時夫 殿外 2名 六、〇〇〇円
目久尻	福田 圭治 殿 一〇、〇〇〇円

根下	小澤 千明 殿 五、〇〇〇円
久保地	宇田 正行 殿外 5名 一八、〇〇〇円
仲町	三枝 北斗 殿外 10名 一七、〇〇〇円
上町	三澤 朝江 殿外 6名 七、〇〇〇円
仲原町	三澤 眞一 殿外 3名 四、〇〇〇円
上町・下町	三留 辰巳 殿外 7名 八、〇〇〇円
南駅前通	木村 範雄 殿 五、〇〇〇円
東通	内野 広志 殿 一、〇〇〇円
南2	金澤 純一 殿 五、〇〇〇円
東2	小西 和男 殿 五、〇〇〇円
入町	門倉 敏明 殿外 5名 六、〇〇〇円
大村(西1)	高橋 伸幸 殿外 4名 六、〇〇〇円
大村(西2)	佐藤 宏 殿外 16名 二三、〇〇〇円
才戸(東)	青木 康弘 殿外 1名 三、〇〇〇円
才戸(南)	田村 拓馬 殿外 11名 一八、〇〇〇円
才戸(西)	辻 隆史 殿外 11名 一六、〇〇〇円
原(北)	石川 太一 殿外 5名 九、〇〇〇円
南町	矢作 英一 殿外 12名 一四、〇〇〇円
西町	森 新吾 殿外 13名 一四、〇〇〇円
川端(東)	阿久津栄志 殿外 2名 三、〇〇〇円
川端(西)	亀山 良平 殿外 2名 九、〇〇〇円
桜町(上)	平山 天 殿 二、〇〇〇円

桜町(中)	八子 敏男 殿外 5名 六、〇〇〇円
桜町(下)	西山 茂一 殿外 6名 七、〇〇〇円
十二天(第二)	高島 信行 殿外 4名 五、〇〇〇円
大曲	大野 芳夫 殿外 25名 二六、〇〇〇円
東町	原田 豊 殿外 11名 一二、〇〇〇円
宿町	石黒 秀樹 殿外 21名 二二、〇〇〇円
西町	石黒 清光 殿外 20名 二〇、〇〇〇円
神之倉	野地 浩一 殿外 13名 一四、〇〇〇円
小動	蛭田 昌 殿外 15名 一六、〇〇〇円
寒川神社九星会	澤津 壽道 殿 三〇、〇〇〇円
講社	98名 一三四、〇〇〇円
匿名	



令和7年 例祭献灯者 芳名

9月19日の午前10時より商工祈願祭並献灯奉告祭が斎行されました。当祭典では寒川神社商工奉賛会の年度初めにおいて、会員のご健勝と共に会員が営む各社の商売繁昌・事業繁栄が祈念されました。また奉賛会以外の崇敬者の方々も記名提灯を掲げ、例祭への奉祝と共に家内安全が祈念されました。

※参集殿前に244灯の提灯が9月1日より20日まで献灯されました

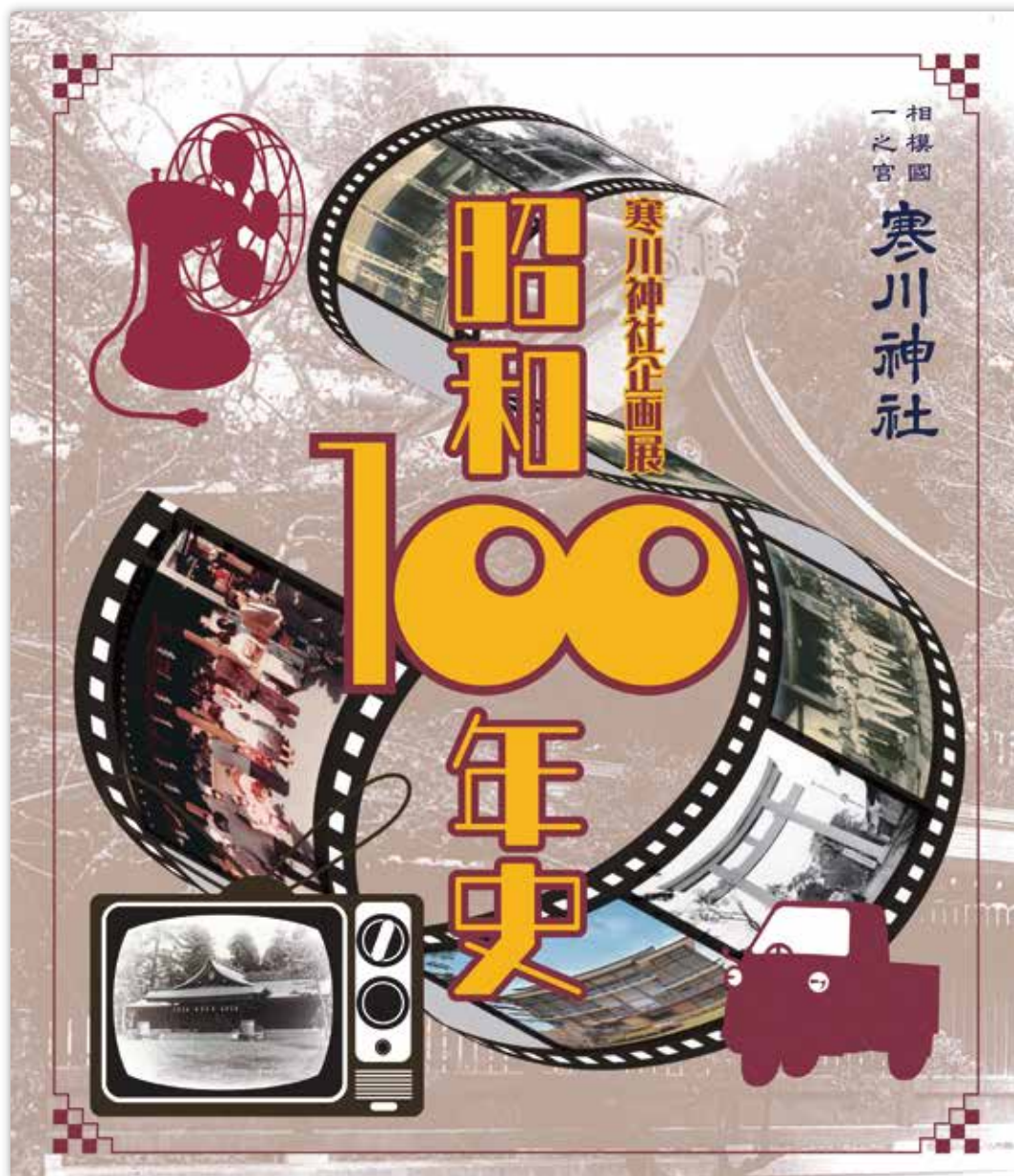


入澤 一三	松本 學	皆川 欽一	青木 誠	高橋竹材店	中島 啓介	前田 隆一	株山上建設	河西工業(株)	日本精麦(株)	下里自動車(株)	株藤又	株カナリヤ	(有)寒川建材	村田商事(株)	(有)田中写真	株グラントライン・マルシゲ	株サンエーサンクス	ヨシカワ商店	株青葉	青山大寿司	株アサヒファーマシー之宮薬局	アズビル(株) 湘南工場	(有)井上商事	株ウスイ植物園	株内野不動産	株梅屋幸	株エフビーアンドホーム	NZサービス(株)	株オーカワ	岡遷(株)	株金子建材土木	福千寿会 さくの郷	宗興全寺	株コーメー	コバシ(株) 湘南工場	(有)寒川公衆衛生社	株寒川自動車整備工場	寒川病院	寒川町観光協会
寒川町商工会	株三昭運輸	(有)三昭興業	株三昭ソーリスト	株三昭メディアカルサービス	湘南信用金庫 寒川支店	昭和興産(株)	神恵苑	セブンイレブン寒川田端店	大黒屋製菓	瀧川園茶舗	露木生花	戸塚米店	とんかつ水龍	中沢運輸(株)	株張替工業	東木材(株)	(有)二葉工務店	株フルモト	(有)古山看板塗装	豊月堂	(有)ほりむら薬品	株真原電工	村松商事(株)	森村ケミカル(株)	(有)ラテラル・テック	株レングー(株) 湘南工場	株わかな造園土木	株アークル	株アイアール	株秋江	株秋山商事(株) 厚木支店	株アクトイオ	Astemo(株)	ALSOCK(株) 湘南支社	安藤物産(株)	株植藤造園	株大島寅次郎商店	(有)大角塗装工業	小田行政書士事務所
(有)香川第一交通	株ガスワン南関東	(有)カネヤ商会	株川合工業所	株北岡本店	株金庫屋	熊澤酒造(株)	倉橋 博之	ユカコーラボトラーズジャパン(株)	(有)小島瓦店	小島 民久	(医)さくまこどもクリニック	株さんこうどう	株サンユー	株ジェイコム湘南・神奈川	株シノハラ	株湘南	株湘南ビューティブライダル	株湘南山鉄	鈴木徽章工芸(株)	株鈴木製館所	須藤 修司	株ダイワ・エム・ティ	株竹澤古典建築設計事務所	株竹中工務店 横浜支店	株永沢興業	長嶋園	中野設計工務(株)	(有)ノブ・リライアブル	株長谷川製作所	ハッピーライフ(株)	人の森(株)	株ヒラボウ	株ホームプラザサンヨー	(有)ボデーショップ浜名	(有)松いち食品	丸高工業(株)	百崎製菓(株)	山一工業(株)	横浜貨物総合(株)
株横浜銀行 茅ヶ崎支店	株落雁 諸江屋	株レンブランドホテル厚木	株アイネット	(有)青木商事	株アクアリンググローバルストラテジー	株浅田水産	旭ファイバークラス(株) 湘南工場	株アサヒファシリテイズ 横浜支店	株アスカ	株Asutrust	株阿部	阿部 和彦	株井上	(有)今井	今井 章博	(有)臼井青果店	株エイブル	株エヌエーシー	大村紙業(株)	株ガーデンワークス	株神路社	株関電工	さくくりなみ	北村工務店	(有)協和クリーニング	株健成興業	株工房えむま	株晃和デイスブレイ	株サイファーム	さがみ農業協同組合 寒川支店	寒川神社参集殿	寒川ロータリークラブ	株寒川ローンテニスクラブ	株シテイライフ	柴崎 要	株重吉 advance	株柔神電	株ジラー(株)	(有)杉崎設備工業
杉山物産(株)	(有)鈴野農機	住友電設(株)	関根 義博	株曾我	株太平商事	株タウンニュース社	株高田	株タカトープランナー	株T日コーポレーション	株ニッポン放送	株日本ロードマーク(株)	のぞみ針灸整骨院	長谷島 征次	ハタノ木材(株)	株初案社	(有)破魔矢奉製所	比企野 孝幸	株フジシロリサイクル	株舞工房	株井建設(株)	株丸井紙店	株三井住友銀行 湘南法人営業部	株ミヤダイ中央社	株森川製作所	(有)柳沼鉄筋工業	株YBKバンテックス(株)	株結商會	ゆめの木はいくえん	横浜エフエム放送(株)	株読売 Palette	リガードホーム(株)	Lucca	レスポールサウンド	ローソン・スリーチフ 寒川宮山駅前店	匿名	(順不同・敬称略)			

企画展

昭和100年史

本年は終戦80年並びに昭和100年にあたる節目の年です。本展示では、関東大震災からの復興に始まる当神社の昭和史を辿ります。また戦争の記憶を継承すると共に、戦後の困窮、経済成長期を経て、平成に至るまでの変革と発展を回顧し、変わりゆく神社の姿を紹介します。



過去の企画展のご紹介

例年、9月から11月にかけて
境内を展示会場として開催しています



令和4年 こよみ展



令和3年 疫病と民間信仰



令和6年 人生儀礼と神社詣



令和5年 神社と震災



※8月10日開催の「大東亜戦争終戦80年 平和祈念式典」
において参集殿1階を会場として先行展示致しました

【会 期】 9月19日(金)から11月9日(日)まで
午前9時から午後4時まで(入場無料)

【場 所】 境内客殿(御祈祷申込所)
地下1階会場にて開催

【問合せ】 寒川神社 宝物資料課

(電話) 0467-75-0004 ※午前8時30分から午後5時まで

第58回 菊花展 開催

【概要】

菊花展は、明治改元百年記念事業の一環として、御祭神の寒川大明神の御神徳の発揚と、日本の伝統文化の菊栽培の技術向上と普及を目的として、昭和43年より毎年開催されています。

例年150点程が出品され、観賞菊である大菊を主に審査対象としており、最優秀賞の寒川神社宮司賞をはじめとして、金賞以下各賞が審査されます。その他、奉納菊も多数展示されます。ご参拝の折には是非、ご覧ください。

●審査長

遠藤 吉和氏 ●副審査長 高橋 正夫氏

【参加団体】

寒川町菊花会、茅ヶ崎茅秋会、湘南平塚菊花会、
藤沢菊花会、綾瀬菊花会、大和秋香会、
厚木秋華会、伊勢原秋豊会、宿矢名菊花会

◆菊花展、写真展 開催日程◆

【会 期】11月10日(月)から23日(日)まで

【場 所】境内廻廊にて



第58回 写真展 開催

【概要】

写真展は、例年多くの作品が出品され、入賞された120点が展示されます。題材は「寒川神社に関係がある祭典・社頭風景」です。神社を舞台に季節の風景や、人物に焦点を当て、様々な物語を写真から感じ取れます。(境内に展示されていない全作品はホームページにて公開します)

●審査長 写真家 丹治 俊雄氏



「七五三詣」のご案内

七五三詣

地元の氏神様の神社に参拝して御祈禱を受けることで、お子様の成長をご奉告し、これからの成長を祈願する日本の伝統文化です。

「祝 歳」

- ・3歳(男の子・女の子) それまで剃っていた髪を伸ばし始める「髪置」かみおき
- ・5歳(男の子) 初めて袴を身に着ける「袴着」はかまぎ
- ・7歳(女の子) 着物を着る際に帯を結ぶようになることを祝う「帯解」おびとき

◆七五三の御祈禱のご案内◆ ※数量限定

【五千円以上思召し】

紅白の御幣・七五三神札・御守・お菓子・落書き帳・クレヨン・折り紙・圧縮タオル・トートバッグ

【二万円以上思召し】

右記記載の授与品に加えて、工作バルーン・プチポットガーデン栽培セット



七五三絵馬 初穂料 500円



幸運鈴 初穂料 2,000円

※限定授与品は授与所にて頒布しています

〈寒川神社参集殿〉

ご会食・着付け・着物レンタル・写真撮影等の受付をしています。

※要予約となります

【問合せ】午前9時から午後5時まで

☎0467-75-5555

！病院だより！

～地域に根差して25年～

新たな体制で迎える訪問看護ステーションの歩み

さむかわ訪問看護ステーション 管理者 野地 ユカ

さむかわ訪問看護ステーションは平成11年に開設され、地域の皆様の健康と安心を支えることを使命として、誠心誠意のサービスを提供しています。

「新たな風を迎え、さらなる地域貢献へ」

本年から新しい管理者へ引き継がれ、当ステーションは新たな体制でスタートしています。長年、培ってきた信頼と実績を大切にしながら、これからの時代に求められる医療と看護を提供できるよう、スタッフ一同、気持ちを新たにしています。私達の最大の強みは、一番に充実したスタッフ陣です。全員が5年以上在籍しており、経験豊富なベテランばかりです。長いお付き合いの利用者様の中には、10年以上看護を受けられている方、ご夫婦や親子二代でご利用いただいている方もいます。訪問看護は病院とは違い、利用者様やご家族とじっくり向き合う時間があります。その中で培われる信頼関係こそが質の高い看護の土台となると信じています。

「人生に寄り添う、切れ目のないケアを」

訪問看護は、年齢や病気を問わず、ご自宅で医療や看護ケアを必要とされる全ての方にご利用いただけます。現在、当ステーションでは10代から100歳以上の方まで、幅広い年代の利用者様を支えています。医療的なケアが必要な小さなお子様、退院後の生活に不安を抱えるご高齢の方、がんの終末期を住み慣れた自宅で過ごしたいと願う方など、私達はそれぞれの人生に寄り添い、その方らしい暮らしをサポートする「伴走車」でありたいと考えています。

「訪問看護が皆様の暮らしを支えるパートナーに」

訪問看護は、「住み慣れた自宅で最後まで安心して暮らしたい」という願いを叶えるための重要な選択肢です。医療機関や介護サービス事業所と連携し、利用者様それぞれに合ったケアプランを立てて、切れ目のないサポートを提供致します。ご本人だけでなく、ご家族の介護負担軽減についてもお気軽にご相談下さい。介護の専門家として適切なアドバイスやサポートを提供致します。

これからも当ステーションは、スタッフ一丸となって地域の皆様の暮らしに寄り添い、安心と笑顔を届けられるよう努力を重ねて参ります。訪問看護についてご不明な点やご相談がございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

合同夏季キャンプ・神饌田稲刈り

ボーイスカウト寒川第二団は、8月4日から6日にかけて長野県戸隠^{とがくし}にて全隊のスカウトと指導者を含めた総勢33名にて合同夏季キャンプを実施しました。現地の活動については、カブ隊とボーイ・ベンチャー隊の2組に分かれて、各隊プログラムを展開し活動を行いました。主な活動としては、戸隠神社中社と奥社を参拝、チビッ子忍者村での忍者体験、戸隠キャンプ場内に流れている清流にて川遊び、戸隠竹細工センターにて竹細工作り体験、キャンプファイヤー、名物のそばをいただき、自然や文化を肌で感じ取ることができました。スカウト達は、通常の活動とは違った経験を積むことができ、ひと回り大きく成長できました。

9月27日には6月に田植えをしました神饌田の稲が例年よりも早く実り、全隊にて稲刈りを行いました。酷暑が続く中、立派な稲穂に育った姿にスカウト達は感心した表情を浮かべ、指導者による稲刈りの説明を受け、鎌を用いて丁寧に刈りました。11月23日の新嘗祭にお供えをし、無事に実ったことへの感謝と共にお米をいただきたいと思ひます。



スカウト募集中!

小学1年生以上の男女

問合せ

寒川神社少年館内 ボーイスカウト事務局

Tel.0467-74-0551

寒川神社少年館は7月29日、30日にかけて、1泊2日の行程で静岡県朝霧高原へ夏季錬成会に行ってきました。1日目は、富士宮市の富士山本宮浅間大社へ正式参拝を行い、その後境内をご案内いただき、神社の歴史や由緒について学びました。午後からは近郊の富士山世界遺産センターを見学し、館内の映像を見ながら、全長193メートルの「らせんスロープ」を上り、富士登山の体験をしながら富士山の歴史や文化などを学びました。2日目は、まかいの牧場でのバター作りや牛さんの乳しぼり体験を行い、たくさん動物と触れ合うことができました。大変暑い中、天候に恵まれた2日間において、館生は神社・富士山・地域それぞれの歴史を学ぶとともに、朝霧野外活動センターにて宿泊研修を行うなど多岐にわたり学習をしました。

また、8月21日には神奈川県神社庁主催「青少年書道展・絵画展」の表彰式が横浜市の杉田劇場において執り行われました。書道展では教化委員長賞1名、入選6名、絵画展では県総連会長賞1名、教化委員長賞2名、サンケイリビング新聞社賞1名、入選2名がそれぞれ受賞しました。受賞していない館生の作品もどれもすばらしく、皆さん、本当におめでとうございませう。



青少年だより

寒川神社少年館

相模の歌

◆寒川俳壇

あちこちと青田をはさむ休耕地
まず一杯シニア会議の麦茶かな
八月や乾ききつたる先祖の碑
おおかたは草の名知らぬ草を取る
道訊けば鎌振り示す甲斐の秋
雨脚のさらなる速さ大夕立
万緑に染まる水面の舳い舟
鶏小屋のトタンの響き大夕立ち
糠漬けの匂ふ厨や梅雨深し
夏空や石打ち競う河川敷
水やりのねじりはちまき汗まみれ
織姫や年に一度の紅を差し
五月雨や失明猫を抱く少女
息深く万緑の中拝礼す
反抗期つかず離れず鳳仙花

新井 泰春
猿渡 弥生
菅沼うめの
倉谷 節子
加賀 莊介
菅沼 保幸
松本美智子
伊藤 公一
岩田美代子
須田 柚川
竹村真砂美
鈴木れいこ
金子 晴子
原 菖子
佐藤 風月

【寒川俳壇】

・昭和24年に誕生。(大正時代から不定期に開かれていた)
・月例会を月4回開き総互選をし、選句技術の向上と俳句の普及に努めている。当神社の例祭神賑行事にも献句として奉納。

寒川俳壇では現在、会員を募集しております。
月に数回、会を催しておりますので、詳しくは
教学部 教化宣傳課までお問い合わせください。

◆相模詠草

はなやかに生けし紫陽花あじさい玄関に見る人もなくはかなく萎れる
旅先の孫ゆ便りの届きたる”元気でいてね”のそえ書きうれしも
行く先の日々健やかに望み持ち夫と励めるテレビ体操
笑いあり厚きステーキ夏の雲底まで来ては又笑いあり
青い空朝露が光るクレイマチス残り花いくつ咲けるを惜しむ
孫二人金曜日にはばあちゃんおとまりしますよろしくねと
ダリヤ咲く強い日差しを反射して夏が近いと囁いてくる
嫁手製のハーブの虫除け顔手足たつぷりつけて水やり開始
ざわざわと隣家の木々がざわめきぬテレビは猛暑を気おいで叫びぬ
一人娘二十歳迎えて喜びと誇りで満ちる母の心
てつぺんの葉うらに小さきでで虫の八手木今日は切らずに置くか
幾久しく親しき人の去り行くは寂しさ胸の奥をよぎりぬ

稲垣 武子
亀山 文子
小林 篤子
清水 洋一
徳江 道子
土屋トミ子
二宮 昭雄
宮治友美枝
山根喜美代
山上 幸
杉本 照世
瀧本三重子

【相模詠草】

・野ばら文化会(前身、婦人会学習クラブ「ふだん着の詩歌くらぶ」として昭和34年に誕生)による詠草。公民館まつり・短歌大会等に参加するなど積極的に活動している。
・昭和50年、本誌に初めて「献詠歌」として掲載。昭和53年に相模詠草と改称、以来現在に至るまで生活の中での一瞬を美しい言葉で切り取った詩歌を継続的に投稿いただいている。

少年館 こども俳句

つゆあけて けしきがきれい おかいもの
あぶらぜみ ぬぎっぱなしの おようふく
かたつむり はっぱの下で みつけたよ
雨あがり きれいなにじが 空をとぶ
あまがえる ゲコゲコと鳴く 大合唱
一歩ずつ 入道雲と すすむかな

寺久保あかり
中園 幸大
金子 誠司
数馬 明莉
葭田 芽生
青島こころ



【10月17日】神嘗奉祝祭



【12月20日】迎春ねぶた設置

祭典・行事のご案内

10月

神無月

15日 午前11時 人形感謝祭
17日 午前11時 神嘗奉祝祭

11月

霜月

3日 午前8時30分 明治祭
23日 午前10時 新嘗祭
10日～23日 第58回菊花写真展

12月

師走

14日 午前8時30分 煤拂祭
20日 迎春ねぶた設置
31日 午後1時 師走大祓式
並大祓祈願祭並除夜祭
除夜祭後 神徳感謝祭

毎月1日・20日

午前8時30分 月次祭



【10月15日】人形感謝祭

人形の日である10月15日に当神社人形奉斎殿において、納められた人形やぬいぐるみに感謝を申し上げ、祓い清める祭典です。



【11月23日】新嘗祭^{にいなめ}

新穀を御神前に奉獻し、五穀豊穰と勤労感謝の誠を捧げる祭典です。



【12月14日】煤拂祭^{すすはらい}

1年間の汚れを拂い清めます。祭典後、御本殿他全ての建物の大掃除が行われ、境内各所の注連縄を交換し、新年の準備が行われます。



【12月31日】師走大祓式

知らず知らずの内に犯した罪や穢を祓い清めて、明年の災難を避け、無病息災を祈願します。全国の氏子崇敬者が人形を納め、大祓を受けます。



【11月3日】明治祭



寒川病院 【代表番号】 ☎0467-75-6680



※予約番号 ☎0467-75-0633
【電話受付】 平日：午前8時30分～午後5時、土曜日：午前8時30分～正午
詳しくは寒川病院のホームページをご確認ください

神恵苑 【代表番号】 ☎0467-75-8677



平日：午前8時30分～午後5時
施設見学をご希望の方は、上記の電話番号までお問合せください
詳しくは神恵苑のホームページをご確認ください



※イメージ写真

お料理・スタイル	～全コース飲み放題～
〈お料理〉 西洋・中国・日本・ 洋中ミックス 〈形 式〉 着席スタイル 立食スタイル (30名様～)	ビール・焼酎 (麦・芋)・サワー ワイン・日本酒・ソフトドリンク
【完全予約制】 ●地域限定 (要相談) マイクロバス送迎サービス (15～25名) ※ご予約状況により、お受けできない場合もございます。 ※ご宴会時間は2時間とさせていただきます。 ※ご予算に合わせて特別プランをご用意いたします。 ※不適用期間あり。お気軽にお問合せください。	【お問合せ・ご予約】 寒川神社 参集殿 TEL.0467-75-5555 (受付時間 9:00～17:00) 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山3835-1

Sansyuden

忘・新年会プラン
令和7年12月1日から令和8年2月28日まで



寒川神社 参集殿
様々なシーンでご利用いただけます

ご予約・お問合せ
☎0467-75-5555



祝祭日には国旗を掲げましょう



相模國一之宮



JR相模線「宮山駅」より徒歩5分、圏央道「寒川北インター」より1km
次号『相模543号』は令和8年1月1日に発行します



公式
Instagram



Youtube
公式チャンネル



公式ライン
アカウント



寒川神社
ホームページ

編集後記
継続は力なり。簡単な事でも毎日繰り返して取り組むことは本当に難しいことです。毎日、夜は僅かな時間でも走ることを決めた知人がいます。その人の楽しみは走った後に、芝生で空を見上げて寝転ぶこと。とても汗をかきながらも走った達成感の中、爽快のようです。小さな努力を続けることは小さな喜びに繋がります。今年が終わる前に来年に繋がる何かを見つけてはいかがでしょうか。(俊)